

Compact Design

スタンダードをよりコンパクトに。

- キヤノンデザイン採用
- 診察室周りの有効活用
- 本体取り回しの簡便さを追求



Aplioシリーズならではの
動物専用プローブをラインナップ

PVU-712BTE
高周波コンベックスプローブ



動物用コンベックス式電子スキャンプローブ
11MC3 PVU-712BTE
5動案第590号

PVU-382BT
マイクロコンベックスプローブ



動物用コンベックス式電子スキャンプローブ
6MC1 PVU-382BT
5動案第589号

PSU-50BT
高周波セクタプローブ



動物用セクタ式電子スキャンプローブ
6S3 PSU-50BT
5動案第594号

Smooth Work Flow

よりスタイリッシュに。

- コンパクトに快適さを
- シンプルかつスムーズ
- 人間工学に基づいたレイアウト



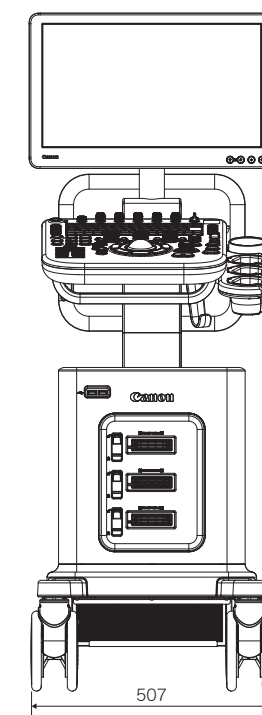
Specifications Aplio go V

標準構成品

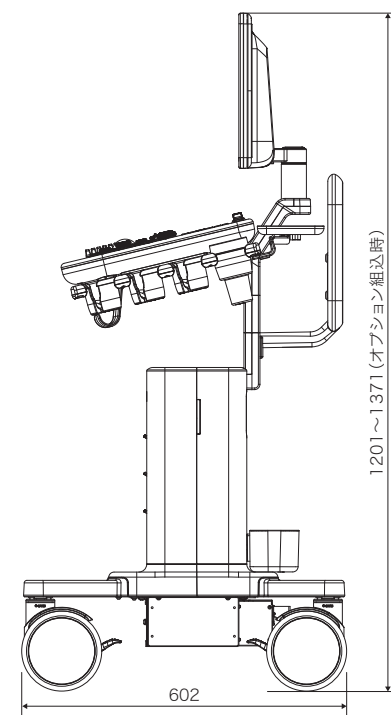
超音波診断装置本体	1
液晶モニタ(18.5インチ)	1
Differential THI	1
AplioPure	1
Precision Imaging	1
Advanced Dynamic Flow	1
Wireless LAN キット	1

推奨オプション品

CWユニット	UHFL-CW
参照信号ユニット	UHFL-REFSG
参考信号用ケーブル リード線	BR-903FT
パームコントローラーキット	UHCO-PT003A
Precision Plus キット	USFL-PRECP
DICOM キット	USCO-DICOM
Protocol Assisitant キット	USPA-AI900A
Dynamic Flow キット	USGG-ADF
動物用コンベックス式電子スキャンプローブ	11MC3 PVU-712BTE
動物用セクタ式電子スキャンプローブ	6S3 PSU-50BT
動物用コンベックス式電子スキャンプローブ	6MC1 PVU-382BT
デジタル白黒プリンタ (DC,有線/無線対応)	UP-D898DC/WO
周辺機器搭載キット (DC 白黒プリンタ搭載用)	UHFL-PERMDC
ゲルウォーマ	UZGW-008A
左プローブホルダーキット	UHFL-THOLD



消費電力 700VA
電源定格 AC100V±10%
質量 45kg (オプション含まず)



単位:mm

【一般名称】 超音波画像診断装置
【販売名】 動物用超音波診断装置 Aplio go V CUS-AGG00V
【届出番号】 5動案第593号
【製造販売元】 キヤノンメドテックサプライ株式会社

- AplioPureはキヤノンメディカルシステムズ株式会社の商標です。
- 写真とモニタ上に表示している画像はイメージです。実際の使用状況と異なる場合があります。
- 改良のため、仕様・外観の一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

キヤノンメドテックサプライ株式会社

<https://mts.medical.canon>

本社 〒211-0067 神奈川県川崎市中原区今井上町9番1号 TEL.044-739-6779
© CANON MEDTECH SUPPLY CORPORATION 2023

お問い合わせ

NBC2023111502

Canon

Veterinary Ultrasound

Aplio go V



コンパクトボディに 高周波数プローブを組み合わせた 動物専用超音波診断装置

Veterinary Ultrasound

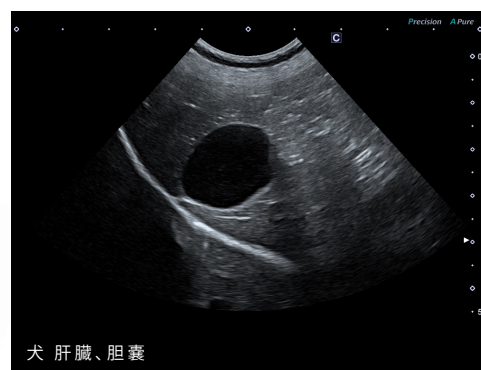
Aplio go V



新開発マイクロコンベックスプローブを装備。

新開発高周波コンベックスプローブ PVU-712BTE

- 表在近くから深部まで描出可能
- 視野角100°を実現、高周波数/広帯域対応

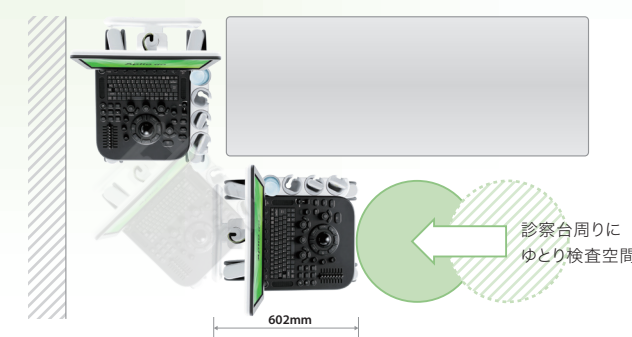


よりコンパクトに、よりスタイリッシュに、よりやさしく。先端技術を使いやすさに変える。

Compact Design

キヤノン独自の「グラウンドデザインコンセプト」のデザイン思想から導かれたシリーズデザインを採用。医用機器メーカーとして、統一性のあるデザインを基調としました。本体は直線を基調とした無駄を排除したシンプルさを強調したデザインとし、装置本体の薄さを見た目からも感じることができます。

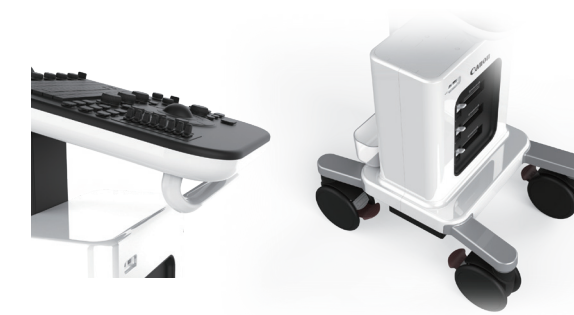
奥行602mmのコンパクトなデザイン



多くの診察台の幅が600mm。診察台の頭側に設置してもすっきりと収まります。重量は45kg(オプション含まず)なので軽い力で引き出せます。



操作部下に空間を確保、先生方の膝が入りやすく、より操作パネル近くで操作できるスタイル



操作パネルの背面や本体の角を柔らかい形状にすることで優しく洗練された印象となりました。



基底部部分を517mm(最小部分)とし、省スペース化を実現しました。

Smooth Work Flow

考え抜かれた操作パネル

デザインは一新しましたが、従来装置操作部レイアウトを継承、今まで弊社製品をお使いいただいていた先生方も違和感なく、ご使用いただけます。操作パネルは、暗い検査室でも明暗順応による目の負担が少ないオニキスブラックを採用しました。



ファンクションキー(F1~F12) 12キーおよびアルファベット+Altキー(A~Z) 26キーにプリセットやメニューへのショートカットなど割り当てることができます。

STCは操作パネルの左下に標準で配置。左手で操作することを考慮して、左側に配置しております。



CDI(カラードプライミング)、PW(パルスドフラ)、CW(連続波ドフラ)などスイッチを独立。直感的な操作を目指しました。

Depth/Zoomボタンも独立、自由度の高い操作性としました。

距離計測や最適化ボタン、ボディーマークなど多用するボタンはトラックボールを中心に配置。7つのボタンと3つのエンコーダが快適な操作をサポートします。ボタン設定もお好みに応じて変更が可能です。

Probe for Veterinary

新開発高周波コンベックスプローブ PVU-712BTE

- 表在近くから深部まで描出可能
- 視野角100°を実現、高周波数/広帯域対応

